

原料の仕込み作業
(混合機へ原料投入)



※原料は米粒状のつぶつぶ、
この状態を「ペレット」と呼びます

KSKの代表的な生産プロセスです
この他にも生産に使用する機械は沢山あります
生産するプラスチックの特性に合わせて使う機械を選定してより効率的な生産
を行い安定した品質の高いプラスチック原料を供給しています

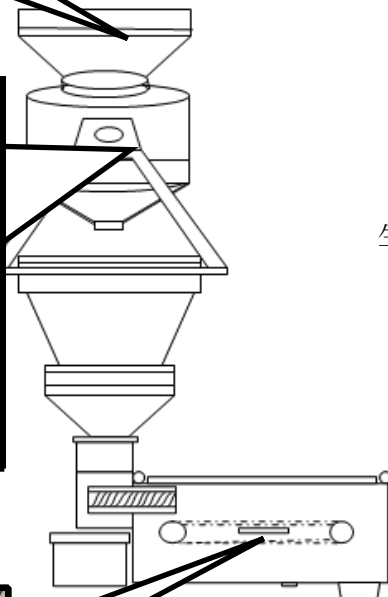
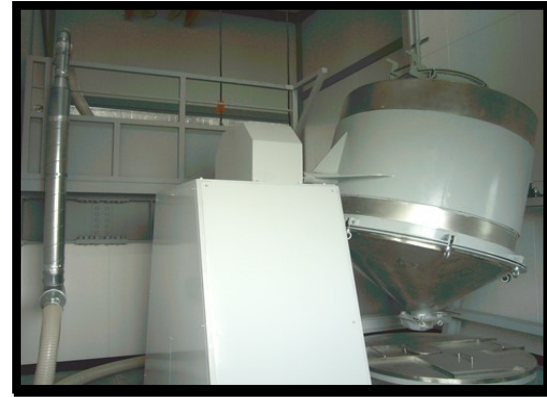


※原料には、粉状の顔料やガラス繊維
などもあります

色が違うペレットを探す「色彩選別機」異
物を除去します



投入、確認が終わったらスイッチオン
500kg~1tのブレンダーがグルグル回転し
ます

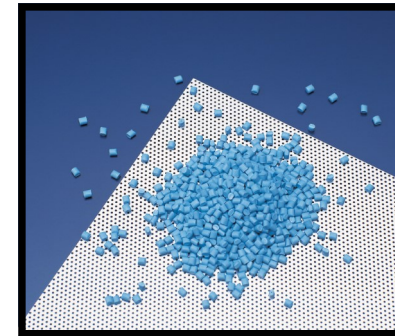


生産プロセス

生産機械のセッティングも仕事です。



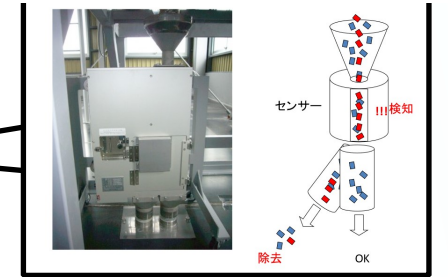
スパゲティ状の「ストランド」をつぶ状
に切断し「ペレット」にします



生産開始前に「定量供給装置」の調整をします



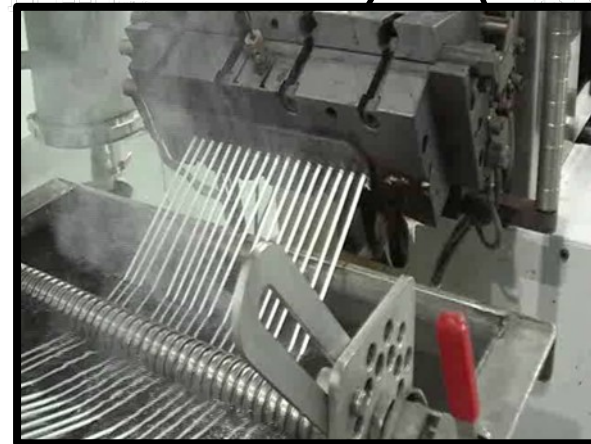
「金属検出機」はその名の通り、金属を
除去する装置です



色々なセンサーを通り、規格にマッチしたペ
レットだけがKSKの製品です
25kgを計量、包装した後、パレットに積み付
け。後は出荷するだけです！



メインの機械「押出機」です
ペレットを200℃~400℃でドロドロに溶か
します



ドロドロに溶けたプラスチックは押出機から
長いスパゲッティ状で出てきます

